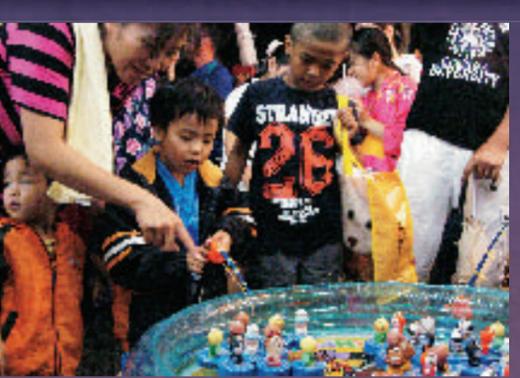




# 第33回浦添 URAGOE TETSUKO MATSURI

浦添の夏の風物詩「てだこまつり」が7月16日(金)の前夜祭を皮切りに7月18日(日)まで浦添運動公園をメイン会場に開催されました。3日間で、延べ19万2千人が市内外から来場し、会場は賑わいました。17日、18日に打ち上げられた花火は、昨年から500発増えて計2,500発となり、夏の夜空を彩りました。



▲多くの方が市内外から訪れ、てだこまつりを満喫しました。

ご寄附・ご寄贈ありがとうございました。  
寄附件数 372件  
物品寄贈 5件  
総額 800万7千円



◀16日に行われた前夜祭では、屋富祖大通りに3つのステージをつくり、バンド演奏やエイサーなど様々なイベントが開催されました。



▲18日は、牧港漁港でハーリー大会が開催され、84チームが速さを競いました。一般競漕のほか、中学生チームの競漕、御願(うがみ)ハーリーも行われました。



▲17日は、てだこ火採火式が行われました。伊祖城跡公園からメイン会場まで、市内学校の児童・生徒によっててだこ火が運ばれました。

